

令和7年度 学校関係者評価報告書

1、実施の概要

- ・評価期間:令和7年4月1日～令和8年3月31日
- ・評価実施日:令和8年3月 19 日(学校評価委員会)
- ・学校関係者評価委員の構成
 - 大脇克彦(姫路料飲組合連合会 監事)
 - 川飛有司(姫路料理業同業組合 組合長)
 - 有元年信(姫路菓子組合 理事長)
 - 田中強(有限会社バースデイ専務取締役)

2、自己点検結果に対する評価

学校側が行った「自己点検・評価」の結果に対し、委員が「適切」「概ね適切」「改善を要する」の三段階で評価。

評価項目	学校の自己 評価	学校関係者評価 (委員の判定)	委員の主な意見
①教育理念・目的目標	2	適切	教育理念に基づく目標及び指針が適切に設定されている
②教育課程、教育の実施、学修成果	2	適切	教育課程は体系的に編成されており、実習では企業との連携もよく行われている。資格の取得率や就職率も良好である。
③学生の受入れ、学生支援	2	適切	クラス担任制の導入やスクールカウンセラーの配置など学生への支援が手厚く行われている。
④教育実施組織・教員	2	適切	調理研究の成果を専門誌に発表するなど教員の資質向上に努めている。
⑤教育環境	2	適切	適正な規模の施設・設備の配置および保守点検が行われている。
⑥教育活動の基盤と改善・向上の取組	2	適切	健全な財政運営に努め財務状況の公表も適切に行われている。

※自己評価基準

- 3:基準を満たしており、特筆すべき取り組みを行っている
- 2:概ね基準を満たしている
- 1:基準を満たしておらず改善が必要

3、総評および提言

貴校は、地域で活躍できる調理師・製菓衛生師の育成を掲げ、地元自治体や企業と綿密に連携を取りながら教育活動を実施されており、その成果が就職実績などにも表れている。また、近年増加

している登校が困難な学生に対しても、担任制の導入やスクールカウンセラーの配置など積極的に対応されている。引き続き、人材の育成による地域活性への貢献に期待する。

4、評価結果を受けた改善策(学校の対応)

学校関係者評価では、不適切な点、改善を要する点の指摘はなかったが、少子化に伴い学生数が減少する中、適切な学生数の確保及び、学生支援や学生満足度向上による退学者数の減少に日引き続き取り組んで行く。